

第1回 環境教育講演会

— 魅力ある環境教育 —

主催 日本化学会環境・安全推進委員会 後援 日本理化学協会 (予定)

会 期 平成20年8月18日(月) 13時00分～17時30分

会 場 化学会館会議室(東京都千代田区神田駿河台1-5)

[交通] JR 御茶ノ水駅、丸ノ内線 御茶ノ水駅、千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩5分

募集人員 50名

趣 旨 かけがえのない地球環境の中で人類はいかにして自然や他の生物と共生していくべきか、環境教育が問いかける命題に対する答は単純には得られない。本講演会ではこのような難問をなるべく多く取り上げ、環境問題の常識、現時点での通説と反論、問題解決への方向性について、講師と聴衆とで意見交換を行いながら「魅力ある環境教育」の実現を模索します。

講演・総括討論・環境教育Q&A 46億年におよぶ地球の歴史と、自然環境下における他生物との共生および生態系への適応、オゾン層破壊や光化学スモッグ、いわゆる酸性雨問題や地球温暖化といった地球環境レベルの諸問題を考えます。また、科学技術によってもたらされるベネフィットは、いまエネルギーと物質のリサイクルという新たな手段によって得られつつあり、環境負荷の軽減に向けた努力や化学物質のリスク管理、環境保全のための経済活動についての理解を深めながら、環境教育の責任とあり方を示します。

13:00-13:10 はじめに：環境教育はなぜ必要か？(環境・安全推進委員会) 市村禎二郎

13:10-13:55 講演1 自然と人間との共生

(日本女子大学 副学長・附属中学校高等学校 前校長) 蟻川 芳子

14:05-14:50 講演2 環境問題－地球温暖化とは？

(東京工業大学 教授・附属科学技術高等学校 校長) 市村禎二郎

15:00-15:45 講演3 大気の不思議－大気の酸性化とは？ (東京農工大学 教授) 原 宏

15:55-16:40 講演4 エネルギーと物質のリサイクル

(JST/CRDS シニアフェロー；国際連合大学 前副学長) 安井 至

16:45-17:30 総括討論・環境教育Q&A

対 象 初中等教育現場で環境教育を担う教員、環境問題に取り組む企業技術者・研究者、環境問題の最新情報を求める一般社会人、環境問題全体の把握を目指す学生・生徒など、さまざまな方々の参加を得て、活発な意見交換と質疑応答を行います。

参加費 無料。講演資料代1,000円。

参加申込方法 「8/18 環境教育講演会出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、下記申込先あて e-mail (matsubara@chemistry.or.jp) にてお申込みください。なお、講演資料代の銀行払い・請求書をご希望の節は、その旨お書き添えください。

申込先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 日本化学会企画部 松原・保倉

TEL 03-3292-6163、FAX 03-3292-6318、E-mail: matsubara@chemistry.or.jp